

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和3年3月5日

事業所名 キンダーハイム地域支援事業

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・備え付けの棚に片付け、それ以外の棚は一つにし広いスペースを確保している。 ・コロナ感染予防のため、入室人数を決め保護者に周知しご協力いただいている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・基準以上配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・玄関から部屋まで、段差のない作りになっている。また、決まった位置での活動にし、テープ等の視覚支援でわかりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・活動にあわせて部屋を使用できるように、広いスペースを設けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・ケースごとの振り返りを療育後に行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・前年度のご要望のあった学習会の回数について、年長児のグループは前年度よりも回数を増やした。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在は第三者による外部評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・保護者対応、子どもの発達の流れ、事例報告、感染症予防など内部研修を行っている。また外部研修への参加もしている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・懇談時の聞き取り、療育中の保護者とのやりとり、また保護者にはチェック表の記入もお願いし、それらを職員間で共有し、支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ケースによって子ども相談センターや医療機関の発達検査、医師の意見書等を使用。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインを全員に配布し読んでいる。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画をもとに遊びや関わり方などの検討している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・会議の場でお子さんの様子や課題を振り返り、立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・日替わりで遊びを提供している。しかしお子さんの成長を確認するために半年程度間を空けて同じ遊びをいれることもある。	・お子さんの課題に合った様々な遊びを今後も提供できるよう努めます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個々の課題から、個別と集団での活動を組み合わせている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・お子さんの姿を予想し、役割について打ち合わせをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・予想と実際の姿の振り返りと今後の取り組みについて検討し、情報共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・お子さんの様子を日記録に、保護者からうかがった話を保護者欄に記入し、それらをもとに振り返りながら支援を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6か月を目安にモニタリング、見直しをしているが、お子さんの状況によっては6か月未満でのモニタリングを行うこともある。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・保健福祉センターや家児相との連携。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・医療的ケアが必要なお子さんは現在ご利用ではありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・医療的ケアが必要なお子さんは現在ご利用ではありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の要望に合わせて、必要に応じて行っているが、保護者からお伝えいただくこともある。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の要望に合わせて、必要に応じて行っている。 ・スムーズな就学に向けて、サポートブック作成方法を保護者に説明したり、お伝えいただいた方がよい支援について保護者と話し合っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・サービス担当者会議に参加したりしたり保護者の要望にて各事業所とやりとりをしたりし、連携している。また助言を受けることもある。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・親子療育教室の時間内に交流はありませんが、幼稚園等に通われているため日々の生活の中で色々なお子さんと交流されています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・平野区子育て連絡会に参加している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・自由遊びの時間や帰る準備の時間を用いて話をしている。 ・保護者のご要望で随時懇談を行っている。	・自由遊びの時間では時間が足りない場合、別の日の懇談やお電話でもおうかがいできることを再度お声かけをします。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		・就学の流れ、サポートブックについて、遊びの意味、こだわり等グループの状況に合わせて学習会を行っている。	・(学習会以外の支援として)コロナ感染予防にも配慮し、お子さんの状況に合わせて自由遊びの時間を使い感想会を実施します。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・モニタリングの時にご家庭での様子をなどを伺い、必要に応じて対応方法等について保護者の方とともに検討したり、助言したりしている。また来られた時にも随時お話をうかがっている。	・モニタリングの時期を目安に個別に懇談を行っていますが、それ以外の時でもご相談いただけるよう必要に応じて、お声かけします。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者学習会の実施、保護者同士で交流していただけるよう自由あそびの時間をゆったりとしている。	・保護者同士で連携していただけるよう自由遊びの時間の活用を、新グループが始まった時に再度お声かけします。 ・コロナ感染予防もあり、2020年度は感想会の回数を減らしていました。今後は状況を見ながら自由遊びの時間に感想会も実施していきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者の方からご相談があった場合は、職員全員で共有し対応について検討。なるべく早くお答えできるように努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月1回～2か月に1回遊びとテーマを記載した「プログラム」を年2回親子療育教室全体の様子も記載した「どろんこ」を発行している。またホームページは年数回更新。	・ホームページを更新時、保護者の方にお知らせします。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・カードなどの視覚支援を行っている。また保護者には必要に応じて筆談もしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・職員はマニュアルを読み、全員で避難の仕方について話し合っている。また避難訓練は保護者にも参加してもらっている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・たくさんのご家庭にご参加いただけるよう、避難訓練を14回に分けて実施。またプログラムで実施日を予告しました。	・次年度も避難訓練の予告をプログラムにて行います。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に服薬等について聞き取りをし、職員全員で把握。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時に確認。また今年度はクッキングは実施していませんが、実施する際は医師からの指示内容を保護者から聞きいた上で準備。準備したものは保護者に確認してもらっている。	・現在は医師の指示書の提出はしていただけていませんが、必要に合わせ提出をお願いすることもあります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・気づいたことがあった時にはその都度職員全員で確認し、対応を検討している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・毎年研修を実施。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。